

目 次

令和3年度 総括研究報告書

研究代表者（小池 司朗）	9
研究分担者（林 玲子）	17
研究分担者（小島 克久）	19
研究分担者（岩澤 美帆）	21
研究分担者（千年 よしみ）	25
研究分担者（守泉 理恵）	29
研究分担者（菅 桂太）	33
研究分担者（中川 雅貴）	37
研究分担者（石井 太）	41

個別研究報告

1. 長期的人口減少と大国際人口移動時代における人口・世帯分析の深化

- 1 日本人生年コーホートデータの作成と 1944～1946 年の死亡構造の算定
(林 玲子) 49
- 2 月別 死亡率からみた 季節性とその地域差
(菅桂太・石井太・別府志海) 65
- 3 人口動態調査出生票を利用した出生歴と市区町村間移動の関連に関する分析
(中川雅貴・小池司朗) 73
- 4 日本における無子男性に関する分析
(守泉 理恵) 87
- 5 離別女性の世代間関係—母親との居住距離と相互支援—
(千年よしみ) 99

2. 外国人人口の急増や新たな出生・死亡のトレンドに対応した将来人口・世帯推計モデルの開発

- 6 令和 2 年国勢調査と比較した平成 30 年地域推計結果の残差の傾向
(小池司朗・菅桂太・鎌田健司) 119
- 7 地域別将来推計人口の精度評価—令和 2 年国勢調査結果に基づく検証—
(鎌田健司・小池司朗・菅桂太・山内昌和) 129
- 8 国内人口移動の人口学的分析—新型コロナウイルス感染拡大に伴う最近年の変化を中心として—
(小池司朗) 141
- 9 出生力の地域差に対する結婚力効果と夫婦出生力効果の分離モデルの開発
(岩澤美帆・菅桂太・鎌田健司・余田翔平) 157
- 10 多相生命表を利用した配偶関係別将来人口推計に関する基礎的検討
(石井 太・別府志海・余田翔平・岩澤美帆・堀口 侑) 169

3. 将来推計の政策的シミュレーションへの応用に関する研究

- 11 在宅要介護高齢者の介護費用と家族介護の同時決定モデルに関する研究—
「国民生活基礎調査」(2016年)を用いた分析—
(小島 克久)…………… 181

資料編

- 1 長期的人口減少と大国際人口移動時代における将来人口・世帯推計の方法論
的発展と応用に関する研究：
研究概要の流れ図…………… 199
- 2 研究成果の刊行に関する一覧表
…………… 201

研究組織

○ 研究代表者

小 池 司 朗 国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部 部長

○ 研究分担者

林 玲 子 国立社会保障・人口問題研究所 副所長

小 島 克 久 国立社会保障・人口問題研究所 情報調査分析部 部長

岩 澤 美 帆 国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 部長

千 年 よ し み 国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 第1室長

中 川 雅 貴 国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 第3室長

菅 桂 太 国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部 第1室長

守 泉 理 恵 国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 第1室長

石 井 太 慶應義塾大学 経済学部 教授

○ 研究協力者

是 川 夕 国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長

別 府 志 海 国立社会保障・人口問題研究所 情報調査分析部 第2室長

鎌 田 健 司 国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部 第2室長

小 山 泰 代 国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部 第3室長

余 田 翔 平 国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 第3室長

大 泉 嶺 国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部 主任研究官

中 村 真理子 国立社会保障・人口問題研究所 情報調査分析部 研究員

鈴 木 透 ソウル国立大学 保健大学院 客員教授

山 内 昌 和 早稲田大学教育・総合科学学術院 准教授

鈴 木 貴 士 筑波大学 大学院 / 厚生労働省 参事官付 統計企画調整室 統計幹事補佐

松 村 一 志 成城大学文芸学部マスコミュニケーション学科 専任講師

堀 口 侑

慶應義塾大学 大学院